

目次

はじめに	i
研究成果の概要	ii
第1章 点字の表記方法とその変遷	1
1.1 点字読み書きの効率性と普通文字との共通性をめざした点字表記の改善とその課題	2
1.2 点字表記法の体系化の過程	8
1.2.1 日本点字委員会プラン	8
1.2.2 日本点字表記法（現代語篇）抜粋	12
1.2.3 日本の点字 — その過去、現在、未来 —	15
1.2.4 改訂日本点字表記法抜粋	23
1.5 統一英語点字コード制定の動向	72
第2章 点字の指導方法	79
2.1 効果的な点字触読の指導理論と学習プログラム	80
2.2 点字の言語学的位置づけ	83
2.3 音声の聞き取りと点字の触読	92
2.4 点字パターン認識を規定する諸要因	96
2.5 効果的な点字触読の学習に関する研究	106
2.5.1 点字読み取り過程の階層モデル	106
2.5.2 点字学習プログラム	110
2.5.3 点字の読み速度を高める効果的な指導法に関する研究(1)	112
2.6 A Program for Teaching Braille Based on a New Theory of Braille Reading	116
2.7 点字入門	125
第3章 点字の特性と読みやすさ	142
3.1 点字科学散歩	143
3.2 点字のサイズと手触り	161
3.3 点字サイズが触読効率に及ぼす影響	165
3.4 糖尿病性網膜症の触弁別（1）	169
3.5 糖尿病性網膜症の触弁別（2）	173
3.6 多点点字の可能性と方向性	177



第4章 コンピュータを用いた点字情報処理	189
4.1 点字とコンピューター	190
4.2 盲学校点字情報ネットワークシステムの現状と将来展望	195
4.3 視覚障害情報処理技術年報（1984～1986年）.....	199
視覚障害情報処理技術年報（1984年）.....	199
視覚障害情報処理技術年報（1985年）.....	204
視覚障害情報処理技術年報（1986年）.....	209
4.4 視覚障害情報処理技術（1987～1998年）.....	216
視覚障害情報処理技術（1987年）.....	216
視覚障害情報処理技術（1988年）.....	217
視覚障害情報処理技術（1989年）.....	219
視覚障害情報処理技術（1990年）.....	220
視覚障害情報処理技術（1991年）.....	222
視覚障害情報処理技術（1992年）.....	224
視覚障害情報処理技術（1993年）.....	226
視覚障害情報処理技術（1994年）.....	229
視覚障害情報処理技術（1995年）.....	231
視覚障害情報処理技術（1996年）.....	233
視覚障害情報処理技術（1997年）.....	234
視覚障害情報処理技術（1998年）.....	235
第5章 点字の歴史と展望	237
5.1 目の不自由な人の読書の歴史と展望	238
5.2 点字のあゆみ	244
5.3 点字の将来	246
5.4 情報化時代と点字・朗読	250
おわりに	vi